

# 平成17年度科学交流フォーラム 静岡発バイオサイエンス

## 染色体動態研究の最前線

**日時** 2006年1月13日(金) 13:00~17:20

**場所** 静岡大学共通教育 A棟301室  
(〒422-8529 静岡市駿河区大谷836)

### プログラム

- 13:00-13:10 主催・静岡生命科学若手フォーラムからの挨拶  
本橋 令子 (静岡大学 農学部)
- 13:10-14:10 東京大学名誉教授 大坪栄一先生 特別講演  
トランスポゾンの利用 –イネの系統分類と起源–  
大坪 栄一 (東京大学 名誉教授)
- 14:10-14:45 レトロエレメント、ヘテロクロマチン、植物ゲノム  
大坪 久子 (東京大学 分子細胞生物学研究所)
- 14:45-15:20 DNAメチル化と植物ゲノムの動態  
角谷 徹仁 (遺伝学研究所)
- 15:20-15:35 休憩
- 15:35-16:10 セパレーズに依存したコヒーシオン切断によるDNA損傷修復  
長尾 恒治 (沖縄大学院大学先行研究プロジェクト)
- 16:10-16:45 張力を必要としないスピンドルチェックポイント解除現象  
丑丸 敬史 (静岡大学 理学部)
- 16:45-17:20 姉妹セントロメア間の接着を保護する因子シュゴシン  
北島 智也 (東京大学 分子細胞生物学研究所)

**主催**：静岡生命科学若手フォーラム

大学ネットワーク静岡/科学交流フォーラム/静岡県

**連絡先**：本橋 令子 (静岡大学 農学部) motohasi@agr.shizuoka.ac.jp  
丑丸 敬史 (静岡大学 理学部) sbtushi@ipc.shizuoka.ac.jp

本シンポジウムは第5回静岡大学ライフサイエンスシンポジウムを兼ねています。シンポジウムは無料で自由に参加できますので、教員、学生問わず、多くの方の参加をお待ちしています。また、要旨等の詳細は、静岡大学生命科学若手フォーラムホームページ (<http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~gsbyf/>) から御覧いただけます。